

公営住宅(高見)建設

工事請負契約など承認



第125回
市議会臨時会

才125回市議会臨時会は、11月8日招集され、1日の会期で開かれました。こんどの議会は、前回継続審査となった1議案のほかにも2議案が提出されました。



さきの九月市議会定例会で、継続審査となっていた公営住宅(高見)建設工事請負契約締結案のほか、市が都合によって解約した舟入団地建設請負工事契約に対する損害賠償額の決定、一般会計補正予算専決処分報告議案を審議する市議会臨時会が、十一月八日開会され、それぞれ可決承認して閉会されました。

せす、また、事故繰り越しなどの猶予措置の最終年というところもあり、年度内に工事完成の見込みがなくなり昨年未工事を断念、市の一方的な都合によって工事請負契約を解約したものです。

こんど可決されました公営住宅建設は、同和対策事業としてさる四十八年に「舟入団地」十六戸として計画され、四十九年十二月二十七日に請負入札、翌二十八日落札した北村建設(北村隆吉代表)と五千五百二十五万円で工事請負の仮契約、翌五十年八月、本契約を結び準備されていたもので、計画がすすむにつれて地元の人々の反対が強まり、その説も効を奏

こうしたことから、市は業者と交渉の結果、解約にともなう損害賠償額を資材代を含めて一千三百三十五万円でし、資材は本年度の公営住宅建設に使用するため一千九百二十四万円で買い取り、その差額三百一十二万円を損害賠償額とするので合意、さる六月定例会にはかつたものの、議会はこれを継続審査とし、さる九月定例会で否決しました。

工事請負解約の

賠償八十九万円



ま同一業者の北村建設との間に、五千九百六十一万円の工事請負契約が成立。同定例会に工事請負契約締結の承認議案を追加提案し、継続審査となっていました。

そのため、付託されている総務委員会(松本二郎委員長)は、議事に先立ち十一月一日、委員会を開催し、継続審査となっている高見団地の工事請負契約の締結議案の取り扱いを慎重に審議のうえ、「止むを得ないもの」として承認することを認めましたが、解約した舟入団地の請負業者に対する民法第六百四十一条の規定による賠償金の支払いについては、「業者に犠牲を強いられるものだ」とする反対意見も出されたものの、「資材代(二千九百七十六万六千円)を含め

一千万円以内で処理できるように業者とケリをつけよ」という、方向づけを執行部に示しました。それを受けた業者は、不満はありながらも了承し、八十九万四千円の損害賠償額の決定承認議案が提出され、「三百一十二万円の賠償額は正しいものだが、委員会の方向づけもあり、大局的な立場から譲歩してもらった」、「庄力に弱い業者に迷惑を掛けることはない」と、誤解をまねくことのないようにと質疑応答のうえ承認されました。

これによって、さる四十八年以來の懸案事項であり、杉本前市長の不信任の一つにもなった公営住宅建設問題も、ようやく解決をみるこができました。

県勢功労者で

土居氏ら知事表彰

さる十一月三日、県勢功労者として、南州市から土居熊治、井上満吉、松本伝三、北村眞三郎さんの四氏が知事表彰を受けました。この表彰制度は、三十一年から始まったもので、地方自治、商業など各分野で多年にわたって県勢発展に功績のあった人々を知事が表彰するもので、こし表彰されたのは二十八人でした。

【地方自治】

土居熊治(七〇)

十市・団体役員



二十八歳の若さで十市村で戦後再び議長、香長村

会議員及び南州市議会議員として通算二十六年八か月在職。この間十市村議長、市議会議長などの重責にもあり、市の発展に貢献した。特に昭和三十一年の町村合併には議長として尽力、香長村

【商工業】

井上満吉(七〇)

稲生 団体役員



昭和九年に石灰製造工場を創業し、各種石灰事業組合の役員などを歴任、ひたすら石灰事業界の近代化、経営の安定など育成指導に努め、いまなお石灰業界の発展に貢献している。その間稲生農協組合長などの役職にあり、地域産業の振興に尽力した。また、村議会議員、市議会議員や議長らの要職にあつて地方自治の発展に尽した。

【農林業】

松本伝三(七〇)

大楠・無職

温厚誠実で徳望高く、地域の人人々に親しまれている。多年、農業関係団体の役員を務め、農業の振興発展に寄与。県共済農協連会長



として、農協共済事業の開発推進に努力し、また、水田地域の加温園芸の先せんを切り、地域農家の生活向上に貢献した。さらに、南州市老人クラブ会長として、明るく生きがいのある老人生活の向上に尽力した。

【保健衛生】

北村眞三郎(六五)

東崎・医師



多年、開業医として地域の住民の医療に精励し、責任感強く、地域住民の信望を集めている。社会保険診療報酬審査委員長をはじめ、南州市国民健康保険運営協議会委員など関係団体の要職にあつて、南州市はもとより、県下の医療行政の適正な運営に尽力されている。また、県集団給食会長として、給食内容の充実改善など同会の育成指導にも貢献されている。

同和事業を推進

51年度の主な計画

- 同和行政を推進し、その目的の達成のため特別の配慮をする。
 - 一人ひとりが努力し、深い理解と協力をもつべきものとした基本理念に基づいて、国の強力な援助のもとに全国の市町村において実施されています。
 - 南州市も措置法成立以前より、じよよに改善事業がすすめられてきました。措置法の執行によつてその事業の重要性が再認識され、地区の環境整備づくりに不断の努力がはらわれています。
 - ところで、こし実施される同和対策事業は、自主財政再建の初年度ということではありますが、
- 全国民の共通課題である。
 - 国および地方公共団体(市町村)の行政責任で解決をはかる。
 - 全国民の共通課題である。
- 国庫補助事業で、
 - 公営住宅(高見)十六戸、農道下末松線、小笠原年線の舗装、前浜共同粗乾機兼作業所、西部地区道改良工事、下島浜集会所、それに前年度繰越事業の五区線新設工事、大漆・浜線線改良工事、などが計画されています。
 - 県費補助事業では、
 - 西山越戸線、七区排水路改良工事、下島浜下水路改良工事、長岡小学校通学路、若宮堰、公営住宅増設工事、共同利用農機具購入、農道前浜南線舗装、同前浜一号線、同シバガハナ線、四区、八区下水、排水路工事、一区地区道路側整備工事、などがあります。
 - 市単独事業に、
 - 三区児童遊園地側溝改修工事、地区内の各排水路整備改良工事、などが計画され、地区の生活環境の改善のための整備事業に、現計予算(九月補正予算)で、総額に四億九千九百五十万円が計上され、その財源として、国県支出金二億一千四百十五万円、起債一億五千四百二十万円、その他の特定財源一千九百二十四万円、一般財源一千一百五十五万円があらわれています。